

あとがき

先日、Michael H. Stevens 氏（ユタ大学医学部耳鼻咽喉科の名誉教授）からメールが私宛に届いた。互いに面識はないが、本誌が MEDLINE に収載されているおかげで、拙稿「ベートーヴェンの病跡と芸術Ⅱ」（2024 年 12 月号 1301–1306 頁）の英文要約が目に残ったのだ。ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン（Ludwig van Beethoven；1770–1827）が長年患った難聴の原因については諸説ある中、「鉛中毒」が原因であることを初めて明快に指摘したのは、Stevens らによる 2013 年の論文（Laryngoscope 123: 2854–2858）であった。

ベートーヴェンの剖検では、聴神経に変性（皺状化と中心核の脱落）が報告されており、鉛などの重金属による軸索変性の可能性があった。この可能性を裏づける直接の原因として、「当時の安物のワインには、苦み消しのため鉛を添加することが違法に行われており、ベートーヴェンがそうした低品質のワインを長期にわたり常飲することで、大量の鉛を摂取してしまった可能性がある」と Stevens らは指摘したのだった〔拙稿「ベートーヴェンの病跡と芸術」（2021 年 12 月号 1327–1331 頁）に文献 14 として引用〕。

鉛中毒説は、ただちに定説となったわけではない。2020 年（ベートーヴェン生誕 250 年という節目）までに出版された医学論文 48 件を総覧した総説でも、ほとんど顧みられること

がなかった。それでも私は、難聴と消化器疾患の両方を説明できる病因として、鉛中毒が最も有力であると考えていた。その後 2023 年に、Begg らがゲノム解析でベートーヴェンの真正な遺髪を認定して彼の重い肝臓病の原因を解明したが、高濃度の鉛が検出された肝心の遺髪はベートーヴェンと人種が異なるばかりか、女性の毛髪であることが明らかとなり、鉛中毒説を支持する根拠自体が揺らぐこととなった。

しかし 2024 年になって事態は急展開する。今度はメイヨークリニックを中心とするチームにより、ベートーヴェンの真正な毛髪の房から異常に高い濃度の鉛が検出されたのだ。ただし、この論文の冒頭で鉛中毒説が紹介されているが、Stevens らの論文ではなく Reiter（ウィーン大学医学部）の総説が引用されており、しかもその総説の最後に記された結論は鉛中毒説に対して否定的だった。当の Stevens 氏はこの状況に神経をとがらせていたのに相違なく、私宛のメールでもその間違いを指摘しながら、「私はほかの多くの研究者が早く同じ結論に至ることに期待したい」と結んでいた。

どんな研究にも誤解や混乱は付き物だが、真実の解明に傾けられた努力はすべて尊いものだと思う。

（酒井邦嘉）

|        |        |  |
|--------|--------|--|
| 編集顧問   |        |  |
| 石塚 典生  | 糸山 泰人  |  |
| 内山真一郎  | 大友 英一  |  |
| 梶 龍兄   | 河村 満   |  |
| 桑原 聡   | 高坂 新一  |  |
| 作田 学   | 辻 省次   |  |
| 寺本 明   | 中込 忠好  |  |
| 中里 洋一  | 彦坂 興秀  |  |
| 平山 恵造  | 藤澤浩四郎  |  |
| 水澤 英洋  | 水野 美邦  |  |
| 森 啓    | 柳澤 信夫  |  |
| 編集委員   |        |  |
| 神田 隆   | （編集主幹） |  |
| 酒井 邦嘉  | 下畑 享良  |  |
| 高尾 昌樹  | 三村 將   |  |
| 虫明 元   |        |  |
| 編集同人   |        |  |
| 入来 篤史  | 岩田 淳   |  |
| 宇川 義一  | 内原 俊記  |  |
| 大隅 典子  | 岡部 繁男  |  |
| 木村 和美  | 久保 義弘  |  |
| 栗栖 薫   | 小林 靖   |  |
| 斉藤 延人  | 砂田 芳秀  |  |
| 高橋 良輔  | 瀧山 嘉久  |  |
| 武田 伸一  | 平田 幸一  |  |
| 寶金 清博  | 星 英司   |  |
| 星野 幹雄  | 本田 学   |  |
| 松野 彰   |        |  |
| （五十音順） |        |  |

本誌は MEDLINE に  
収載されており、掲載論文は  
PubMed で検索可能です。

BRAIN and NERVE 第 77 巻第 4 号  
2025 年 4 月 1 日発行（毎月 1 回 1 日発行）  
定価 3,080 円（本体 2,800 円＋税 10%，送料実費）  
2025 年年間購読料  
（増大号 1 冊を含む年 12 冊，税込，送料弊社負担）  
冊子版 40,370 円  
電子版／個人 37,488 円  
電子＋冊子版／個人 44,550 円  
  
ご購入に関するお問い合わせ先（販売・PR 部直通）  
TEL 03-3817-5650 FAX 03-3815-7804  
  
印刷所  
（株）アイワード  
  
広告申込  
（株）ハイブリッジエージェンシー TEL 03-3814-0089

◆本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は株式会社医学書院が保有します。  
◆本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者などの第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。  
[JCOPY]「出版者著作権管理機構委託出版物」  
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、その都度事前に出版者著作権管理機構（TEL 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。  
◆「BRAIN and NERVE」は株式会社医学書院の登録商標です。

発行 株式会社医学書院  
代表者 金原 俊  
  
〒113-8719  
東京都文京区本郷 1-28-23  
編集室直通  
TEL 03-3817-5701  
FAX 03-3815-7802  
E-mail bn@igaku-shoin.co.jp  
https://www.igaku-shoin.co.jp/journal/416  
担当：有賀・前野  
  
Published by IGAKU-SHOIN  
Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku,  
Tokyo ©2025, Printed in Japan